

ご意見・ご感想

○家族が覚悟を持って接しているの、(みんなが時間を作って、よく足を運んでくれました。)嫁としては良かったと思いますが、本人にとってどうだったのか？最期をどう迎えるのか、どう送るのか、本当の所ようわかりません。職員の皆さまのおかげで、私は随分助けられました。ありがとうございました。

○車椅子で気分転換に病棟外や売店等に連れていってもらったことは、大変良かったと思います。

○立春が過ぎましたが、毎日寒い日が続いていますね。担当看護師さんはじめ皆さまには、大変お世話になりました。ありがとうございました。また、暖かくなりあの花(すいれん)の咲く頃に行ってみたいと思います。良く見ていただいたので、何もありません。

○緩和ケア病棟の皆さんは、本当に心やさしく、ご親切で病人はとても喜んでいました。皆様の心暖かい看護をいただきました。本当にお世話になりました。

○思っていたよりも早く入院させていただきました。もう少しで良いから頑張っほしかったですが、残念でした。皆様に手厚く看護していただき感謝申し上げます。病室がもう少し増えたら良いと思います。

○治療が始まった時点から本人は全てを告知され、残された時間も承知していました。その事で周りの家族は全てを受け入れていました。
塩嶺病院に入院させていただいた間は、小鳥の声を聴いたり、桜の花、桃の花がとてもきれいだとメールを送って来ていました。窓の外にあさがおの苗の為のネットが張られた時は、夏の暑さを思ったことでしょうか…残念にも、お花は見られませんでした。
そちらの病院に入院中は、音楽を聴いたり読書したり、きっと穏やかな時間も過ごすことができたのかと家族の者は少しは心が休まる思いです。
いろいろお心遣いいただき本当にありがとうございました。

○最近になって特に思うのですが、早く楽にしてほしいと言われて、「まだ、お迎えに来ないから、頑張っ。まだ、来なくていいと神様が言っているから…」なんて答えていた私でしたが、それは本人にとってとてもつらいことだったのかも知れない。もっと違った対応はなかったのだろうか。私は、緩和ケア病棟に入れてよかったと思うけれど、本人はどうだったのだろうか？家に帰れたかったと思う。最期は、家につれて帰ってやるのが本人にとって良かったのかも知れない。などいろんな想いが心の中をわいてきます。どうして一番良かったのか、もっといろんな事をしてあげたかもしれない。時々ふと考えてしまいます。そして、自分が患者になった時、同じ立場になった時、きちんと自分の最期を考えることができだろうか？
でも、塩嶺病院に入れて過ごした日々、私もきっと故人も、病院のみなさんに感謝しています。本当にお世話になりました。

○自宅での介護をしたかったのですが、小さい子供がいて手が回らなく病院のお世話となりました。緩和ケア病棟に入るのに待ちが長く、この先このような施設、病院等が増えることを願っています。
私の家族のお世話をありがとうございました。最期の大切な時を、みなさんに看てもらってとても感謝しています。本人も安心して滞在できたことと思います。私達も心おきなく足を運ぶことができ、そちらにも居心地良く泊まらせてもらいました。うまく言葉に表現することができませんが、一言みなさんに「ありがとうございました。」と伝えたくペンをとりました。これからも、職員の方々、大変な仕事と思いますが、頑張っ下さい。
(病状が悪化している時、早めに先生からきちんと説明を受けたいと希望すべきだったと思いました。)

○職員さん方の仕事の大変さが解りました。私がおしがん患者になった場合、緩和ケア病棟に入れていただきたいと思ひます。本当にありがとうございました。皆様も、これから寒くなります御体に気をつけて頑張っ下さい。

○感謝しています。ありがとうございました。
自宅で看取っあげたかったです。兄弟がいても身近にいる私だけでした。本人は自宅に帰たく頑張っっていました。一時帰宅もできなく逝ってしまったことは、悔いが残ります。ベッドに座ることもできない状態でしたが、病状は落ち着いているからと転院し、8日目でした。唯一の楽しみであるテレビも見る気がなく、気休めのラジオの音だけの病室でした。がんからの痛みもなく逝ったことが、残された家族には救いです。

○父が亡くなりまもなく1年になりますが、本人も緩和ケア病棟に来て本当に良かったと何度も言っていたし、最期は母も泊まることができて良かったと感謝しています。緩和ケア病棟は、本人にとっても、また家族にとっても必要な所だと思ひました。皆さまのことは忘れません。心より感謝しています。本当にありがとうございました。これからも、とても大変な仕事だと思ひますが、頑張っ下さい。ありがとうございました。

○私達家族が入院している母の所へ行くと、スタッフの皆さまは「ありがとうございます。」と言っくださいました。母は、ここで大切にされているのだと感じとても嬉しく安心しました。「人の最期を看取る」大変なお仕事ですが、この施設があるおかげで助かっている者が多くいます。スタッフの皆さま、今後も健康に留意されが活躍されますよう心からお願ひ申し上げます。

○先生はじめスタッフの方々に、とても親切にいただきました。他の普通の治療目的の病院とはちがいで、患者の気持ちを考えて看護をしていただけたので、本人も家族もとても感謝しています。
「緩和ケア」の意味も良く分からずに、塩嶺病院を紹介されましたが、自宅では決してできない看護を受けることができた紹介していただきとても良かったです。
1つ感じたことは、このような病院がとても少なく、必要としている方たちが、不安な気持ち、また複雑な気持ちで入院できる日を待っていなければいけない事です。もう少しベッド数が増えれば…と思います。
先生・スタッフの皆さま、本当にお世話になりました。

○他の病院に転院するよう言われ、どうして良いのか困ってしまい患者も泣いてしまい、その時は本当に苦しかったです。岡谷病院で引き受けていただき、入院。その日のうちに塩嶺病院へ話しに行くよう指示され、気持ち良く接していただき言葉に言い表せないほど嬉しく思いました。『あの時の出来事は生涯忘れられません。』患者も安心し、私も平成19年秋から一生懸命看病してきましたので、塩嶺病院に入院できた時は、患者と共に安心しました。
このような病院が沢山できることを願っております。
看護に当たる皆さんは大変ですが、どうぞ身体に気をつけて頑張ってください。

○本人が希望し、あまり待たずに療養を受けられたことは幸いであった。居室だけでなく家族が寝泊まりする部屋も充分利用しやすかったのも、特に最期の時期は助かった。
職員の方の対応は、暖かい思いやりがありとてもやさしく申し分ないと思った。特に家族に対してもかなり気配りしてくれたことは、とてもうれしく感じた。
最期を看取るのどこが良いかは、難しい課題だ。看護状態が良ければ自宅も良いかもしれないが、患者が自身の判断ができるかどうかと、家族の別離に関する切り替えの感情とのバランスにあるのではないかと、治療費の支払いなど事務的な対応で不自由な事が多かった。もう少し画一的でない対応を希望する。
人生最期の時を暖かく対応していただいたことを心から感謝しています。それにもかかわらず家族にとっては、つらい思い出として残ってしまうため、まだそれを表明できない状態にありますことをご理解ください。

○自宅ではできない様な事を何かとやっていただき、家の者が行っても全然わからない状態でしたが笑顔を引き出してくださり、また写真に残して下さりびっくりしました。緩和ケア病棟に入れて良かったです。

○2ヶ月間大変お世話になりました。娘の私ひとりで看護だったので、看護師さんと話すことで大変心が救われました。個人的な事ですが、売店に不自由したのでその点が改善されれば嬉しいです。

○岡谷病院から緩和ケア病棟に転院する時に、もう自分は死期が迫っていると感じて精神的に混乱していました。その姿が今でも一番悲しく思い出します。
近くの部屋から苦しんでいる声が聞こえてきたのが、気になりました。あまり苦しまずに逝くことができました。大変お世話になりました。私達姉妹はこれで良かったのだと信じています。ありがとうございました。

○このアンケートに付き、感謝とお礼を申し上げる機会を頂きうれしく思います。本人も私共家族も緩和されケアされたモノと思います。したがってこれ以上の要望も改善ありません。
只ひとつ、このような施設を多くの方に知っていただき、ひとりでも多くの方が利用できるよう、施設の拡充と増設を計っていただきたいと願っています。

○同室で付き添う場合、もう少しスペースがあった方がうれしい。使っていないシャワールームを有効活用できないでしょうか。

○最期まで看取らせて頂けたご配慮に心から感謝しております。心細い夜中から早朝まで一緒に付き添っていただいたこと、患者の母の事は勿論ですが、付き添う家族のことまで充分なご配慮頂き皆さまに安心しきって、残された日々を過ごさせていただきました。本当に幸せな環境で過ごさせていただいたにも拘らず、最期までご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。感謝と共にお詫び申し上げます。ありがとうございました。

○入院にあたり面談を受けましたが、解りやすい説明で、また病状についても詳しく教えていただき安心して入院させることができました。短い入院期間ではあったが、静かな部屋で・談話室も広くゆったりしていて、面会者の対応がやりやすかった。看護師さんがとても優しく接していただいた。
患者の苦痛を速やかに取り除いてくれて、穏やかな顔をして逝くことができたと思う。
緩和ケア病棟を紹介されてから35日目に入院ができたが、待機期間が長く残念だった。もう少し早く入院できれば、さらに良い緩和ケアがしてやれたと思う。緩和ケア病棟の入院をまつ人も大変多いと思います。
対応できるよう室数を増やしてほしい。PRも必要だと思う。
退院時職員の皆さまのお見送りに、悲しみの心が一瞬癒された。ありがとうございました。
家族・親族のみんな緩和ケア病棟に入院できて感謝しています。

○母がこちらの病院(病棟)にお世話になった日数は、6日間でした。こちらに来る以前入院していた病院では、男性の中に母ひとり女性という6人部屋でした。薬のせいもあったのか大きい物音にもビクビクし、部屋でのポータブルトイレ使用も本人はとても気を使っていました。体を拭いてはもらいましたが、お風呂に入れてもらった時も、何だか恥ずかしそうでした。70代後半とはいえやはり女性ですから嫌だったと思います。あちらでの医師の対応、年若い職員さん達の対応、沢山の患者さんのお世話をしているので大変だと思いますが、配慮のない対応・態度に病院で何なんだ!!と怒りすらありました。しかし、こちらの緩和ケア病棟に転院し、車からストレッチャーで病室に移動する時からなんて違うんだろうかと、驚きでした。病人への接し方、付いていた私への心やさしい対応、静かな病室、母の病状の説明もとても丁寧にいただき、ただただありがたく思いました。転院して2日間静かな病室でぐっすり眠り「あー良く寝たよー。」また、食事も「こんなにおいしいご飯は、久しぶり。」と私もびっくりするほど食べていました。その後、意識がなくなり、そのまま亡くなりましたが、娘と二人、長く辛い入院生活だったけれど、こちらに来て意識があった2日間、とても静かに穏やかに過ごすことができ、本当に良かった。病院の皆様には、感謝・感謝です。緩和ケア病棟、長野県には数が少ないと聞いております。実は、父も13年前母と同じ肺がんで亡くなっております。こちらのような緩和ケア病棟もなく、自宅近くの病院で亡くなりました。あの頃、緩和ケアがあれば、もう少し長く生きていられたかも…と思います。できることなら、病床を増やして頂きたいです。母もちょうど空気があったのでこちらに来ることができましたが、普通病棟で入院されている方がひとりでも多く、この緩和ケア病棟に入れるよう是非考えていただきたいです。最後に、付き添っていた私や娘達にも心やさしい言葉を掛けていただき、本当にありがとうございました。緩和ケア、とても大変なお仕事です。先生、看護師の皆さま、くれぐれもお体を大切にお過ごしください。長々とすみませんでした。ありがとうございました。

○母の突然の死から1年。今も夢のような出来事のように思われます。その折は、大変お世話になりました。末期がんの母のにとって最期を緩和ケア病棟で過ごせたことは、とても幸せでした。医療の進歩は、人間の尊厳を著しく傷つけます。チューブづけの最期は、延命のみを重視した医者自己満足でしかないように思われます。

○母の入院の際はお世話になりました。こちらにお世話になるまで、とても大変な思いをし、辛い経験もたくさんしてきました。母は、医師から確定診断を受けたところから始まったのですが、積極的に治療を希望しない意思を伝えると、患者・家族に対して地域がん診療拠点病院のスタッフの方々とさえ相談に乗って頂くまでの道のりが遠くなっていきました。母の場合、本当に病院を受診することが嫌いで、風邪をひいても足腰が痛くなくても自分が動けなくなるまで我慢したり、心疾患の発作を起こし苦しい思いをしても助けを求めなかったりの医者嫌いでしたので、医療機関への受診はなかなか大変なものがありました。(きっと、診断されることが恐かったのだと思います)また、独り暮らしであること、加齢とともに頑固さ認知面が加わって自分の好きな生活をしていた母には告知しないと決め自宅で頑張れるまで母らしく生活できるスタイルを選択しました。昨年夏から体力が衰え動けなくなった時、加療をお願いした医療機関のスタッフの方の対応・言葉にはとても悲しい思いをしたこともありました。ですが、その後に出会い入院を受け入れてくださった病院の医師および病棟スタッフの皆様、病室の患者さん達が暖かい対応や、言葉がけをたくさんしていただき救われた気持ちになったのも事実です。病に向き合う考え方は色々あると思いますし違って良いと思いますが、私が最後に選んだ選択が母にとって良かったのか悪かったのかはいまだに判断が付きません。先月、母の1周忌があった時に叔母達からは「姉は幸せだったわ。最期まで綺麗な病室できちんと世話してもらって。」「看護師さん達が優しいわ。」「私もあんなふうに見てもらいたい。」等の言葉を何度もいただきました。塩嶺病院 緩和ケア病棟にお世話になれて良かったと思います。そして私自身前に進める元気もいただきました。色々なご配慮に感謝しております。今も、母のお仏壇の前には孫一家と一緒に撮っていただいた七五三の写真、折り紙を飾らせていただいています。大変なお仕事と思います。スタッフの皆様のご健康とご活躍をお祈りしています。